

名古屋大学フューチャー・アース研究センター

## 適応と緩和・脱炭素社会

日時

12月18日 土

13:15 ~ 16:30

場所

名古屋大学  
環境総合館 レクチャーホール+  
オンライン配信

申込み

<https://forms.gle/bGtsdYouJGy8EfeUA>ハイブリッド  
形式での  
開催!

地球規模の気候変動を踏まえ、日本および中部地域における **気候変動** と **気象災害** に対する社会の適応とレジリエンス向上に向けた戦略を考えるとともに、脱炭素社会の構築や温室効果気体排出削減（緩和）に向けた大学の取り組みを広く公開する機会とする。特に、中部地域の関係諸団体（自治体・経済界・マスコミ等）との連携を図り、地域住民との活発な意見交換の場を設ける。

さらに、気候変動への **適応** と **緩和** に関する名古屋大学と岐阜大学との連携研究を強化する。

挨拶 杉山 直 名古屋大学副総長 名古屋大学フューチャー・アース研究センター長

第1部

## 趣旨説明：気候変動にともなう永久凍土融解とシベリア社会の適応

檜山 哲哉 教授 名古屋大学宇宙地球環境研究所

## 樹木年輪の酸素同位体比から見た日本の気候変動と適応の歴史

中塚 武 教授 名古屋大学大学院環境学研究科

## 中部地域の気候変動と気象災害への適応

吉野 純 准教授 岐阜大学工学部附属応用気象研究センター

第2部

## 気候変動下における岐阜県の森林による炭素吸収量の将来予測

斎藤 琢 准教授 岐阜大学流域圏科学研究センター

## 脱炭素社会に向けた技術開発

則永 行庸 教授 名古屋大学未来社会創造機構

第3部

## パネルディスカッション

モデレーター 村岡 裕由 教授 岐阜大学地域環境変動適応研究センター／流域圏科学研究センター

適応

緩和

共催

名古屋大学未来社会創造機構

名古屋大学大学院環境学研究科

名古屋大学宇宙地球環境研究所

岐阜大学地域環境変動適応研究センター

岐阜大学流域圏科学研究センター

岐阜大学工学部附属応用気象研究センター

中部の  
気象災害  
気候変動  
を考える。